

ナガバヤブマオ

[草本] 《忌避》



大きな群落が各地にある。



葉の幅の狭いものから少し広いものまである。



花序は長い。

区別のポイント

各地の山間に生える。葉は対生、長い柄があり長楕円形。茎の断面は鈍四角形。

形態 多年草。高さ1～2 m。

分布 本州（山形県・宮城県以南）・四国・九州・沖縄

名前の由来 マオ（カラムシの別名）の類であり、葉がやや長いから。

葉 〈全体〉長楕円形、3主脈が目立つ。
〈付き方〉対生。
〈葉柄〉長柄。
〈基部〉広くさび形。
〈葉先〉鋭尖頭。
〈縁〉規則的な歯状鋸歯。

備考 サイカイヤブマオは有毒。また、繊維質で堅いためか。

出典 1